

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	街路事業				
地区名	都市計画道路 <small>とよおかとよほせん</small> 豊丘豊浜線				
事業箇所	知多郡南知多町大字 <small>とよはま</small> 豊浜地内				
事業のあらまし	<p>(都)豊丘豊浜線は、南知多町を南北に縦断するとともに南知多町役場を經由して海岸沿いの国道 247 号まで至る地区幹線道路である。町の地域防災計画を基に作成した津波避難防災マップでは、大規模地震が発生した際に漁港等の海岸部から内陸部に避難する津波避難路になっており、第 2 次緊急輸送道路でもある。また、小中学校の通学路としても指定されている等防災上や歩行者や自転車等の安全性の確保において整備が必要な路線となっている。</p> <p>南知多町役場から南へ約 400mの区間は整備済みであるが、その先の国道 247 号までの区間は未整備であるため、安全な避難路の確保と緊急輸送道路の整備が急務な状況である。また、小中学校へ通学する児童等も含めた歩行者や自転車等が、歩道のない生活道路を通行しており、歩行者等の安全性も確保されていない状況である。</p> <p>このため、「緊急輸送道路の強化」「交通安全対策の強化」を主な目的として、(都)豊丘豊浜線のバイパス整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 緊急輸送道路の強化</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2014)	再評価時 (2019)	変動要因の分析	
	事業期間	2015～2019	2015～2023	用地買収の難航によるもの	
	事業費（億円）	10.8	7.3	精査によるもの	
	経費内訳	工事費	1.2	1.2	
		用補費	9.0	5.6	精査によるもの
		その他	0.6	0.5	精査によるもの
事業内容	バイパス整備 延長 L=300m 幅員 W=16m 2車線		同左		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>① 緊急輸送道路の強化 現道は、愛知県地域防災計画で第 2 次緊急輸送道路に指定されているが、歩道もなく家屋が近接しており、災害時には沿道家屋の倒壊により、緊急輸送道路として機能しない恐れがある。</p> <p>② 交通安全対策の強化 現道は、沿道に商業店舗や住居あるものの歩道がないことから、歩行者等の安全確保が必要である。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>事前評価時から必要性に大きな変化はない。</p>			

	<p>【変動要因の分析】 大きな変動要因はない。</p>																																																																																																																		
判定	<p>B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】 緊急輸送道路としての機能確保や、歩行者等の安全性確保の観点から、事業の必要性は依然として高い。</p>																																																																																																																		
1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="2">10.1</td> <td></td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.8</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>1.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td></td> <td>1.3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">6.0</td> <td></td> <td>7.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.3</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>0.3</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>10.1</td> <td>1.3</td> <td>13%</td> <td>7.3</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0.6</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>1.2</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>9.0</td> <td>1.0</td> <td>11%</td> <td>5.6</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.5</td> <td>0.3</td> <td>60%</td> <td>0.5</td> <td>65%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率（面積ベース）は、約7% ※用地取得の一部を先行予算で実施しており、面積ベースの用地取得率は64%（2018年度末時点）</p> <p>【施工済みの内容】 ・部分供用済みの区間はなし。</p>		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計	工種 区分	調査・設計	←→			←→						用地・補償			←→			←→				工事						←→				事業費 (億円)	前回計画	10.1			0.7					10.8	実績		1.3							1.3	今回計画		1.3			6.0				7.3		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.3	0	0%	0.3	0%	事業費(億円)	10.1	1.3	13%	7.3	18%	工事費	0.6	0	0%	1.2	0%	用補費	9.0	1.0	11%	5.6	18%	その他	0.5	0.3	60%	0.5	65%
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計																																																																																																									
工種 区分	調査・設計	←→			←→																																																																																																														
	用地・補償			←→			←→																																																																																																												
	工事						←→																																																																																																												
事業費 (億円)	前回計画	10.1			0.7					10.8																																																																																																									
	実績		1.3							1.3																																																																																																									
	今回計画		1.3			6.0				7.3																																																																																																									
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																															
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																														
延長(km)	0.3	0	0%	0.3	0%																																																																																																														
事業費(億円)	10.1	1.3	13%	7.3	18%																																																																																																														
工事費	0.6	0	0%	1.2	0%																																																																																																														
用補費	9.0	1.0	11%	5.6	18%																																																																																																														
その他	0.5	0.3	60%	0.5	65%																																																																																																														
2) 未着手又は長期化の理由	<p>用地の取得に不測の日数を要したため、事業期間を4箇年延伸する必要性が生じた。</p>																																																																																																																		
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 一部の用地交渉が難航しており阻害要因となっているため、用地買収の完了に向け引き続き交渉を行っていく。</p> <p>【今後の見込み】 事業費ベースで用地補償は18%程度の進捗であるが、先行予算で取得した面積ベースの用地補償は64%の進捗である。用地交渉難航者を除く、他の土地所有者との調整は概ね整っている。今後も引き続き用地買収を進めることにより2024年3月末に完了する見込みである。</p>																																																																																																																		
判定	<p>B</p> <p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p>																																																																																																																		

②事業の進捗状況及び見込み

		<ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ① これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
<p>【理由】</p> <p>これまで用地の取得に不測の日数を要し、事業が長期化しているが、引き続き用地買収を進めることにより、2024年3月末までに事業完了が見込めるため。</p>		
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備による周辺交通や避難路等の環境の変化を評価する。 ・歩行者等通行の安全性を評価する。 		